

日本語 Advanced Server for OpenVMS

リリース・ノート

2007 年 4 月

本書は、日本語 Advanced Server V7.3B for OpenVMS の日本語関連の新機能および制限事項について説明します。

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-2, V8.2, V8.3

ソフトウェア・バージョン: 日本語 Advanced Server V7.3B for OpenVMS

日本ヒューレット・パッカー株式会社

2007年4月

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は米国 Microsoft 社の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

まえがき	ix
1 日本語機能の概要	
1.1 日本語ファイル名	1-1
1.2 日本語共有名	1-2
1.3 日本語ユーザ名およびグループ名	1-3
1.4 日本語コメント文	1-3
2 新機能および変更された機能	
2.1 新機能	2-1
2.2 変更された機能	2-1
2.2.1 サーバの言語設定	2-2
2.2.2 日本語ファイル名変換ユーティリティ	2-2
3 既知の問題点と制限事項	
3.1 ODS-2 ボリュームでの日本語ファイル名	3-1
3.2 日本語 DECwindows Motif での日本語ファイル名	3-1
4 日本語ドキュメントについて	
例	
1-1 OpenVMS での日本語ファイル名	1-2
1-2 OpenVMS での日本語共有名	1-3
1-3 OpenVMS での日本語ユーザ名	1-4

本書の目的

本書では、日本語 Advanced Server 7.3B for OpenVMS の新機能および使用上の注意事項について説明しています。

日本語 Advanced Server for OpenVMS は、標準版の Advanced Server for OpenVMS に対して日本語機能を追加した製品です。標準版で提供される新機能および標準版の機能に関する使用上の注意事項については、標準版のリリース・ノート（『Release Notes』）で説明しています。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章 Advanced Server が提供する日本語機能の概要を説明します。
- 第 2 章 本リリースの新機能および変更された機能について説明します。
- 第 3 章 既知の問題点と制限事項について説明します。
- 第 4 章 日本語ドキュメントについて説明しています。

関連資料

以下は標準版 Advanced Server V7.3B のドキュメントです。

- 『Advanced Server for OpenVMS Concepts and Planning Guide』
- 『Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』
- 『Advanced Server for OpenVMS Commands Reference Manual』
- 『Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』

以下は OpenVMS のドキュメントで、Advanced Server に関連するものです。必要に応じて参照してください。

- 『OpenVMS インストレーション・ガイド[翻訳版]』
- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』
- 『OpenVMS License Management Utility Manual』
- 『OpenVMS Extended File Specifications の手引き』
- 『OpenVMS Connectivity Developer Guide』

日本語機能の概要

この章では、日本語 Advanced Server V7.3B の日本語新機能について説明します。

日本語 Advanced Server V7.3B は、標準版 Advanced Server V7.3B で提供する機能に加えて、次の機能をサポートします。

- 日本語ファイル名
- 日本語共有名
- 日本語ユーザ名およびグループ名
- 日本語コメント文

1.1 日本語ファイル名

日本語 Advanced Server V7.3B では、標準版 OpenVMS の提供する Extended File Specification の機能により、共有 (ネットワークドライブ) サービスで日本語のファイル名が作成でき、Windows NT/2000/XP および Windows 95/98 から利用できます。これらのファイルは、日本語 OpenVMS から同じ日本語のファイル名として扱うことができます。

日本語ファイル名に使用できる文字は以下のとおりです。

JIS X 0201	1 バイトの英数字 (ASCII) ・片仮名文字セット
JIS X 0208	2 バイトの漢字文字セット (JIS 第 2 水準まで)

ユーザ定義文字はこのバージョンではサポートしていません。また次の文字は Windows のファイル名に使用できません。

¥ / : * ? " < > |

日本語ファイル名は最大 118 文字です。スペースや拡張子を含んだ文字数です。ただし使われている文字が半角英数字 (ASCII) のみであれば、215 文字です。これは Windows 2000 のファイル名の最大長です。

日本語ファイル名を使用する場合は Advanced Server の共有ディスク (share directory) を ODS-5 ディスク上に設定する必要があります。

また日本語 OpenVMS V7.3 以降を利用している場合は、ADNIMISTAR コマンドラインで漢字ファイル名が利用できます。SET MODE/RAW コマンドによりファイル名を VTF-7 モードから RAW モードに切り替えれば、SET FILE/SHOW FILES

日本語機能の概要

1.1 日本語ファイル名

コマンドで漢字ファイル名が入力 / 表示できます。RMS ファイルコンバータが有効 (sdeckanji モード) になっていることが必要です。RMS ファイルコンバータについては日本語 OpenVMS のドキュメントを参照して下さい。

例 1-1 OpenVMS での日本語ファイル名

```
$ jsycp := $sys$system:jsy$control.exe
$ jsycp set rms/file=sdec
$ jsycp show rms
The current filename encoding is set to sdeckanji.
$ admin set mode/raw
$ admin show share bunko

Shared resources on server "HPOVMS":

Name          Type          Description
-----
BUNKO         Directory    文庫本リスト

Total of 1 share

$ admin show file/full bunko
Files in: ¥HPOVMS¥BUNKO
.              <DIR>
Permissions:
Administrators Full Control (All) (All)
Everyone       Change (RWXD) (RWXD)
Server Operators Change (RWXD) (RWXD)
SYSTEM        Full Control (All) (All)
Audit Events: (None specified)
Owner: SYSTEM

山田風太郎.txt
Permissions:
Administrators Full Control (All)
Everyone       Change (RWXD)
Server Operators Change (RWXD)
SYSTEM        Full Control (All)
Audit Events: (None specified)
Owner: SYSTEM

Total of 2 files

$
```

1.2 日本語共有名

日本語 Advanced Server V7.3B では、共有ディスクサービスのサービス名 (共有名) として日本語の名前が使用できます。使用できる文字は日本語ファイル名と同じです。

サポートする日本語共有名は最大 10 文字です。ただし使われている文字が半角英数字 (ASCII) のみであれば、12 文字です。

例 1-2 OpenVMS での日本語共有名

```
$ jsycp := $sys$system:jsy$control.exe
$ jsycp set rms/file=sdec
$ admin set mode/raw
$ admin show share bunko
$ admin add share/dire "製品" dqa0:[products] /desc="製品リスト"
%PWRK-S-SHAREADD, share "製品" added on server "HPOVMS"

$ admin show share "製品"

Shared resources on server "HPOVMS":

Name          Type          Description
-----
製品          Directory    製品リスト

Total of 1 share

$
```

1.3 日本語ユーザ名およびグループ名

日本語 Advanced Server V7.3B では、Advanced Server で使うユーザ名、グループ名として日本語の名前が使用できます。使用できる文字は日本語ファイル名と同じです。

サポートする日本語ユーザ名および日本語グループ名は最大 10 文字です。

1.4 日本語コメント文

日本語 Advanced Server V7.3B では、Advanced Server で使う共有名、ユーザ名、グループ名のコメント文 (Description) として日本語が使用できます。使用できる文字は日本語ファイル名と同じです。

サポートする日本語コメント文は最大 85 文字です。

日本語機能の概要
1.4 日本語コメント文

例 1-3 OpenVMS での日本語ユーザ名

```
$ jsycp := $sys$system:jsy$control.exe
$ jsycp set rms/file=sdec
$ admin set mode/raw
$ admin show user/ful "山田風太郎"
```

User accounts in domain "LANGROUP":

User Name	Full Name	Type	Description
山田風太郎		Global	山田風太郎なユーザ名
User profile:			
Logon script:			
Home Path:			
Primary Group: Domain Users			
Member of groups: Administrators, Domain Users			
Workstations: No workstation restrictions			
Logon Flags: Login script is executed			
Account Type: Global			
Account Expires: Never			
Last logon: 12/04/02 01:45 PM			
Password last set: 12/04/02 01:40 PM			
Password expires: 01/15/03 01:40 PM			
Password changeable: 12/04/02 01:40 PM			
Logon hours: (All hours)			

Total of 1 user account

```
$ admin logon
Username: 山田風太郎
Password:
The server \HPOVMS successfully logged you on as 山田風太郎.
Your privilege level on domain LANGROUP is ADMIN.
The last time you logged on was 12/04/02 01:45 PM.
$
```

新機能および変更された機能

この章では、日本語 Advanced Server V7.3B の新機能および変更された機能について説明します。

2.1 新機能

日本語 Advanced Server V7.3B に追加された日本語関連の機能は特にありません。

なお、本リリースでは、以下の標準版の機能が新機能として追加されています。

- クライアント・ライセンス・チェックを無効にするためのオプションの提供
- PC ファイルおよび共有をインストールするかどうか選択するためのオプションの提供
- PWRK\$LMSRV プロセス異常終了後の自動再起動
- SMB (Server Message Block) 署名のサポート
- NTLMV2 認証のサポート

これらの機能の詳細については、『Release Notes』を参照してください。

2.2 変更された機能

本バージョンで変更された日本語関連の機能はありません。

本バージョンで変更された標準版の機能については、『Release Notes』を参照してください。

なお、日本語 Advanced Server V7.3A で以下の機能が変更されています。

- サーバの言語設定
- 日本語ファイル名変換ユーティリティ

2.2.1 サーバの言語設定

V7.3A

Advanced Server V7.3A では「Advanced Server の構成方法」の「サーバの言語設定」に日本語 (Japanese) が追加されました。Advanced Server の構成プロシージャ (sys\$update:pwrk\$config.com) を実行した場合に「9. Advanced Server language:」で「Japanese」を設定してください。

以前のバージョンの日本語 Advanced Server では言語の設定にかかわらず、日本語機能が使用できました。詳しくは『インストールおよび構成ガイド』の第 3.8 節を参照してください。

2.2.2 日本語ファイル名変換ユーティリティ

V7.3A

以前のバージョンの PATHWORKS (LAN Manager) では日本語ファイル名 (shift_jis コード) を ODS-2 ボリューム用にエンコードしていました。これらのファイル名を ODS-5 ボリューム上で Unicode によるファイル名に変換することにより、クライアントから同じ日本語ファイル名のまま利用することができます。詳しくは『インストールおよび構成ガイド』の第 5.8 節を参照してください。

また、Advanced Server V7.3A では、日本語以外の文字コードでエンコードされていた場合の変換も行うことができます。日本語ファイル名 (shift_jis コード) を変換する場合には、修飾子/code_page=sjis を指定してください。

主な手順としては、以下のとおりです。

1. 以前の共有ディレクトリに使用していたディスクのバックアップを取る。
2. ディスクを ODS-5 ボリュームに変換する。
3. 変換ユーティリティでディスク毎、またはディレクトリ毎にファイル名を変換する。

既知の問題点と制限事項

この章では、日本語 Advanced Server V7.3B での既知の問題点と制限事項について説明します。

標準版 Advanced Server V7.3B の制限事項については、標準版のリリースノート『Advanced Server V7.3B for OpenVMS Release Notes』を参照してください。

3.1 ODS-2 ボリュームでの日本語ファイル名

ODS-2 ボリューム上の共有ディレクトリでは日本語ファイル名をサポートしていません。ODS-2 によるネットワークドライブでは日本語ファイル名ではなく、1 バイト英数字 (ASCII) 文字のファイル名を使用してください。

3.2 日本語 DECwindows Motif での日本語ファイル名

日本語 DECwindows Motif では 40 文字以上の日本語ファイル名をサポートしていません。このため、Advanced Server の共有ディレクトリ中の日本語ファイルをウィンドウ・インタフェースから操作できない場合があります。

日本語ドキュメントについて

日本語 Advanced Server for OpenVMS V7.3B では、以下のドキュメントを新たに提供しています。

- 『リリース・ノート』

今お読みのドキュメントです。

『リリース・ノート』のテキスト版が日本語 Advanced Serve のキットに含まれていますが、ファイルの最後に標準版のリリース・ノート(『Release Notes』)が添付されています。標準版の新機能および注意事項についてはこちらを参照してください。

本リリースでは本書『リリース・ノート』の他、以下のドキュメントを改訂しています。

- 『日本語 HP Advanced Server for OpenVMS をご使用のお客様へ』
- 『ソフトウェア仕様書』(SPD)
- 『インストレーションおよび構成ガイド』

